

保護者ガイダンスに活用できる!  
「第5回 高校生と保護者の進路に関する意識調査」  
報告PartⅡ

# 子どもが進路に前向きになる 「保護者の態度」と 「家庭教育」

「子どもの進路選択にあたって、親はどんな態度や行動をとったらいいのだろう」

「家庭ではどんな教育を心がけていくべきなのか」

「子どもは親に対して本当は何を望んでいるのか」

昨年実施した調査の結果から、親の態度と家庭教育の内容が高校生の気持ちにどう影響しているかを見ました。  
保護者に日頃のご自分を振り返っていただくきっかけに、保護者会などでご活用ください。

p.33～p.37に次の調査結果を紹介しています。コピーしてお使いください。

- 01 高校生が感じている進路選択に関する保護者の態度
- 02 家庭教育について高校生と保護者のとらえ方
- 03 「なぜ勉強しなければならないか」の話し合いの有無
- 04 「なぜ働かなければならないか」の話し合いの有無
- 05 高校生の「将来への自信」と上記01～04はどう関係しているか
- 06 高校生の「進路を考えるとときの気持ち」と上記01～04はどう関係しているか
- 07 高校生が保護者にやめてほしいこと
- 08 高校生が保護者にしてほしいこと
- 09 高校生が感じている自分の保護者に当てはまること

※保護者会などでは、p.37の【結果のポイント】を用いてデータを解説したあと、  
保護者同士で感想や意見をやりとりする時間を設けていただければと思います。

## 調査概要

- 調査実施者：社団法人全国高等学校PTA連合会  
株式会社リクルート
- 調査対象：全国の高校2年生とその保護者  
(全国高等学校PTA連合会より依頼した都  
道府県の公立高校27校：2年生2クラス分  
の高校生と保護者)
- 調査期間：2011年9月20日～10月31日
- 有効回答数：高校生1,959人、保護者1,417人

## ダウンロード可

### 保護者のための自己診断シート

子どもの進路選択に関して「干渉」「無関心」の傾向にあるか自己診断していただくシート。保護者会冒頭で配布し、保護者に自らの課題をより感じていただくために活用できます。

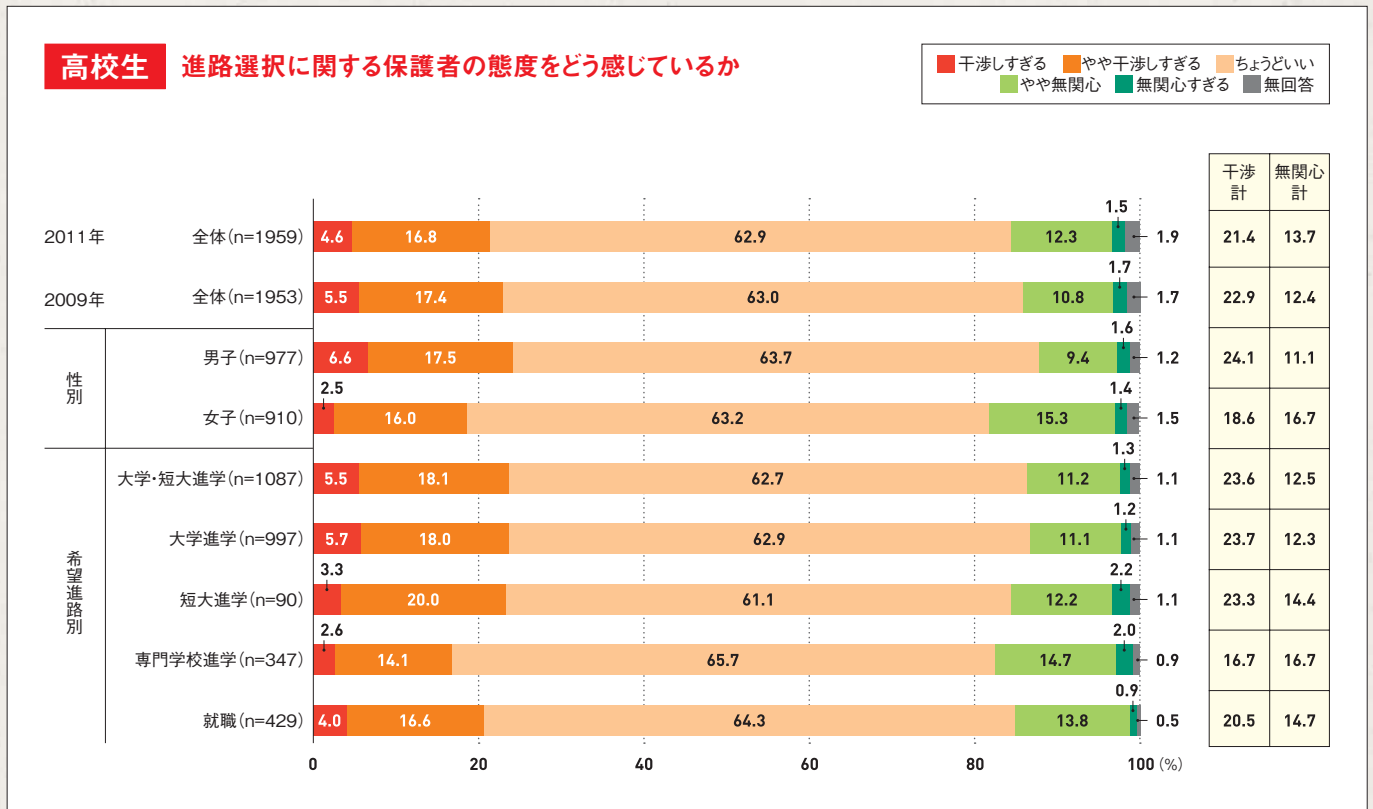
## ダウンロード可

### 高校生対象 「保護者の態度と家庭教育アンケート」

自校の高校生の傾向を把握し、直接保護者に届けられる、高校生用の簡単なアンケート用紙もネット内に用意しています。全国調査結果との比較なども可能です。

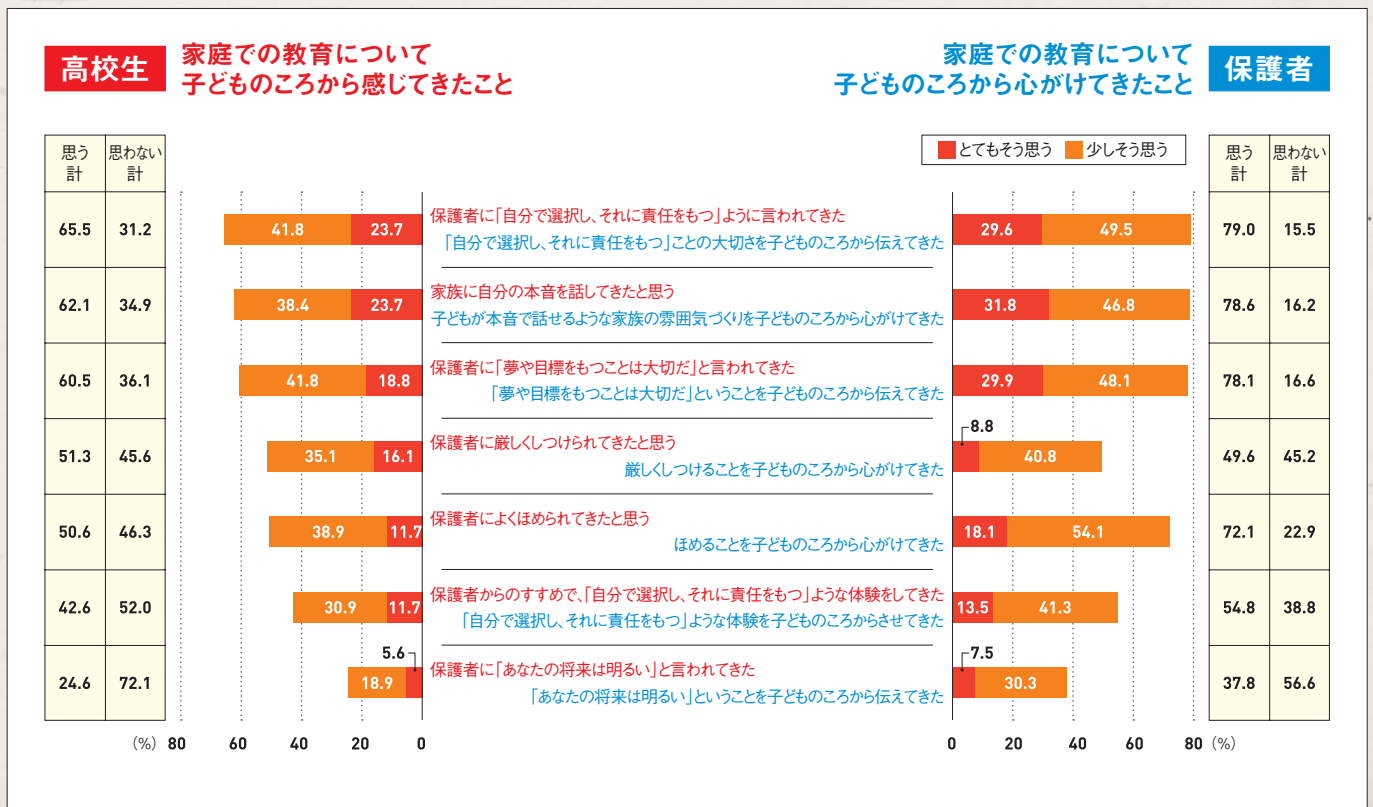
# 01 高校生は保護者の態度をどう感じている？

「ちょうどいい」が63%と多いものの、「干渉」は21% 「無関心」が14%も



# 02 家庭教育について高校生と保護者のとらえ方はどう違う？

「ほめられてきた」高校生は51%、「ほめてきた」保護者は72%と大きなギャップ

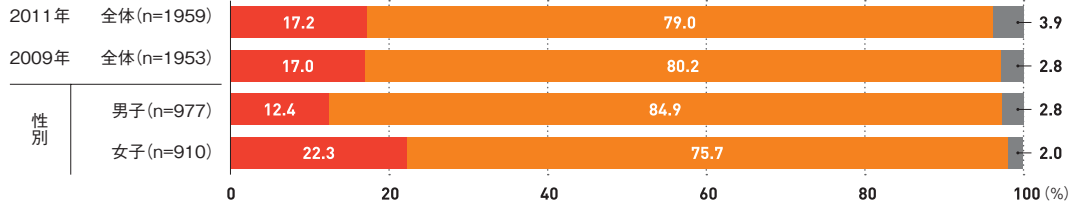


# 03

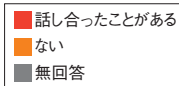
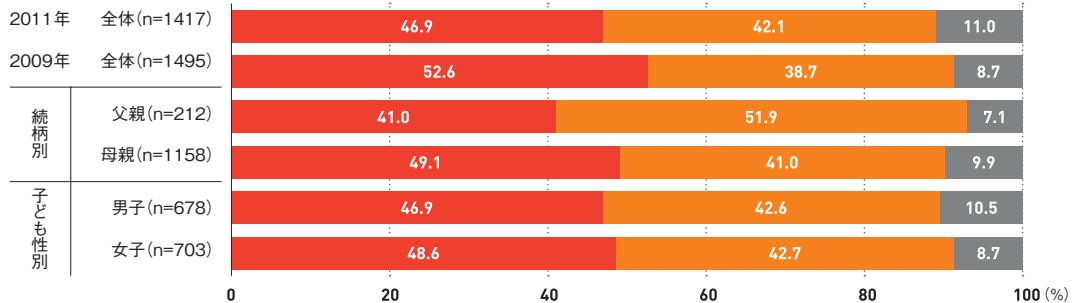
## 「なぜ勉強しなければならないか」話し合ったことがある？

「保護者と話し合った高校生」17%、「子どもと話し合った保護者」47%と大きなギャップ

### 高校生



### 保護者



#### ●なぜ勉強するのか 話し合った内容【高校生】

- 将来の選択肢を広げるためにする[大阪/男子/大短]
- 成績によって将来が変わる[鳥取/女子/大短]
- 将来、自分のためになるから。たくさんの知識は生きるうえで大切だから[佐賀/女子/大短]
- 資格を取るためには、それなりの学力が必要だから[新潟/男子/専門]
- 学生のうちしか勉強できない(仕事があるから)。今しかできないことがある[大阪/女子/大短]

※フリーコメント末尾のカッコ内の表記は[都道府県/性別/希望進路]

#### ●なぜ勉強するのか 話し合った内容【保護者】

- 教養はある程度必要。人生が開けていきやすい[新潟/父親/女子]
- 仕事の選択肢が増える[青森/父親/女子]
- 勉強ができない→仕事先が選べない[茨城/母親/男子]
- 人生を豊かにするものである! [新潟/母親/男子]
- 今しかできないことだから。勉強した結果は自分への自信につながるということ[新潟/母親/男子]
- 大人になっていくうえで段階であり自分のためになること[佐賀/母親/女子]

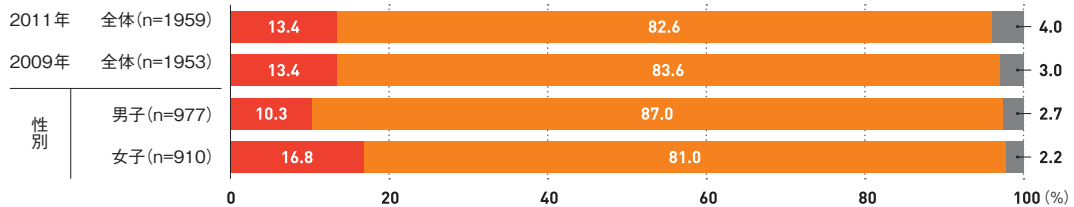
※フリーコメント末尾のカッコ内の表記は[都道府県/続柄別/子ども性別]

# 04

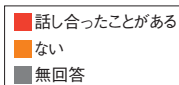
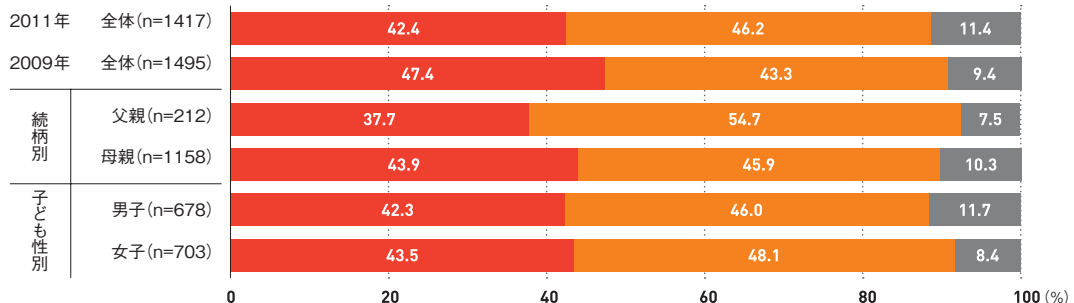
## 「なぜ働かなければならないか」話し合ったことがある？

「保護者と話し合った高校生」13%、「子どもと話し合った保護者」42%と大きなギャップ

### 高校生



### 保護者



#### ●なぜ働くのか 話し合った内容【高校生】

- 生きていくため、また、自分のやりたいことなどをするためにはお金が必要だから[佐賀/女子/大短]
- お金がないと生きていけないから[茨城/男子/就職]
- 社会の一員として生まれたなら当然[佐賀/女子/大短]
- 家族ができれば養わねばならないし、親孝行しないといけないだろうから[佐賀/男子/大短]
- 働かなければまともな生活はできない[北海道/男子/大短]

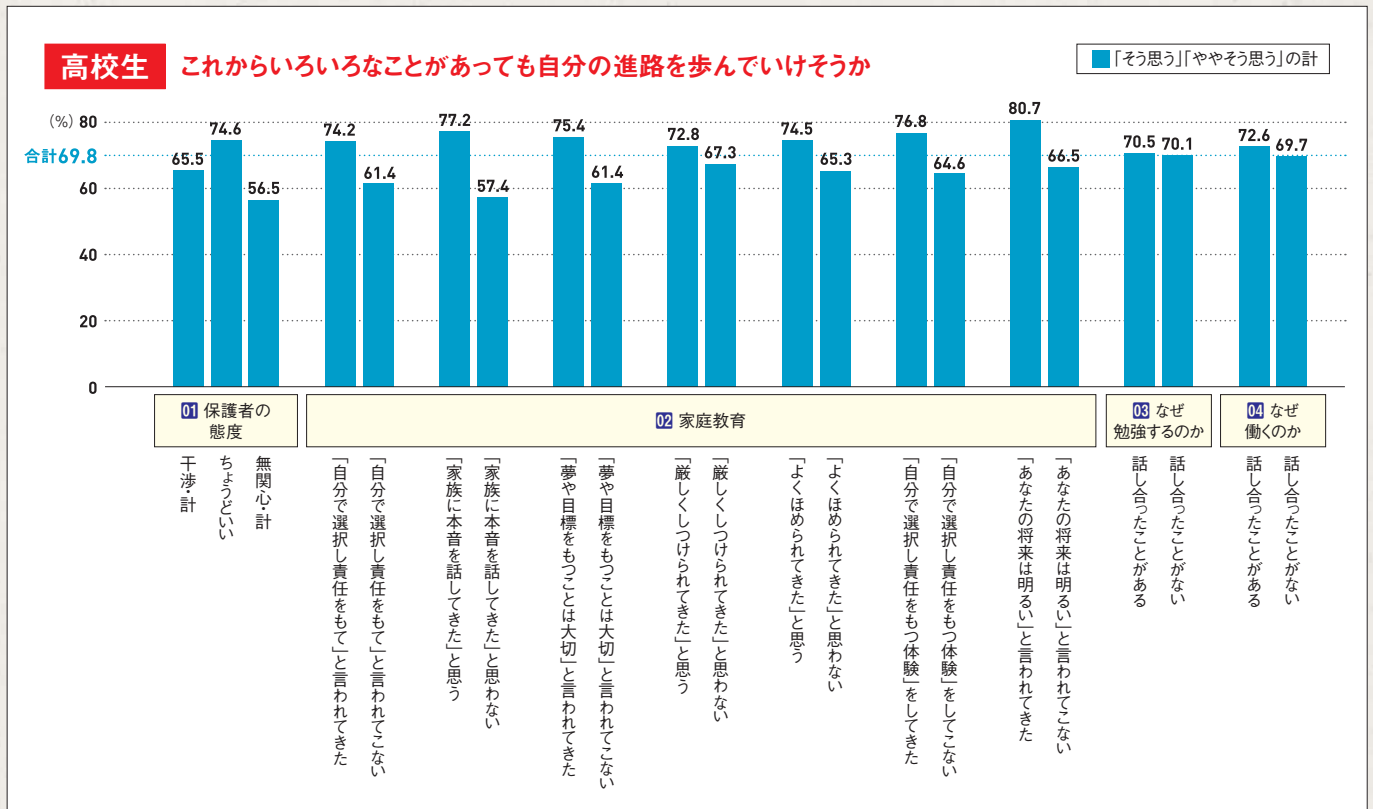
#### ●なぜ働くのか 話し合った内容【保護者】

- 勤労の義務(義務を果たせない人は権利を主張できない)[佐賀/母親/女子]
- 自分で自立した生活を送るため[愛知/母親/男子]
- 大人としての責任、自覚、生活のため[佐賀/母親/女子]
- 社会とつながることによって、自分の存在感を認められる[新潟/母親/女子]
- 生きていくため。自立して人生を設計し、人生を幸せに過ごすため[愛知/母親/男子]

05

## どんな高校生が将来に自信があるか？

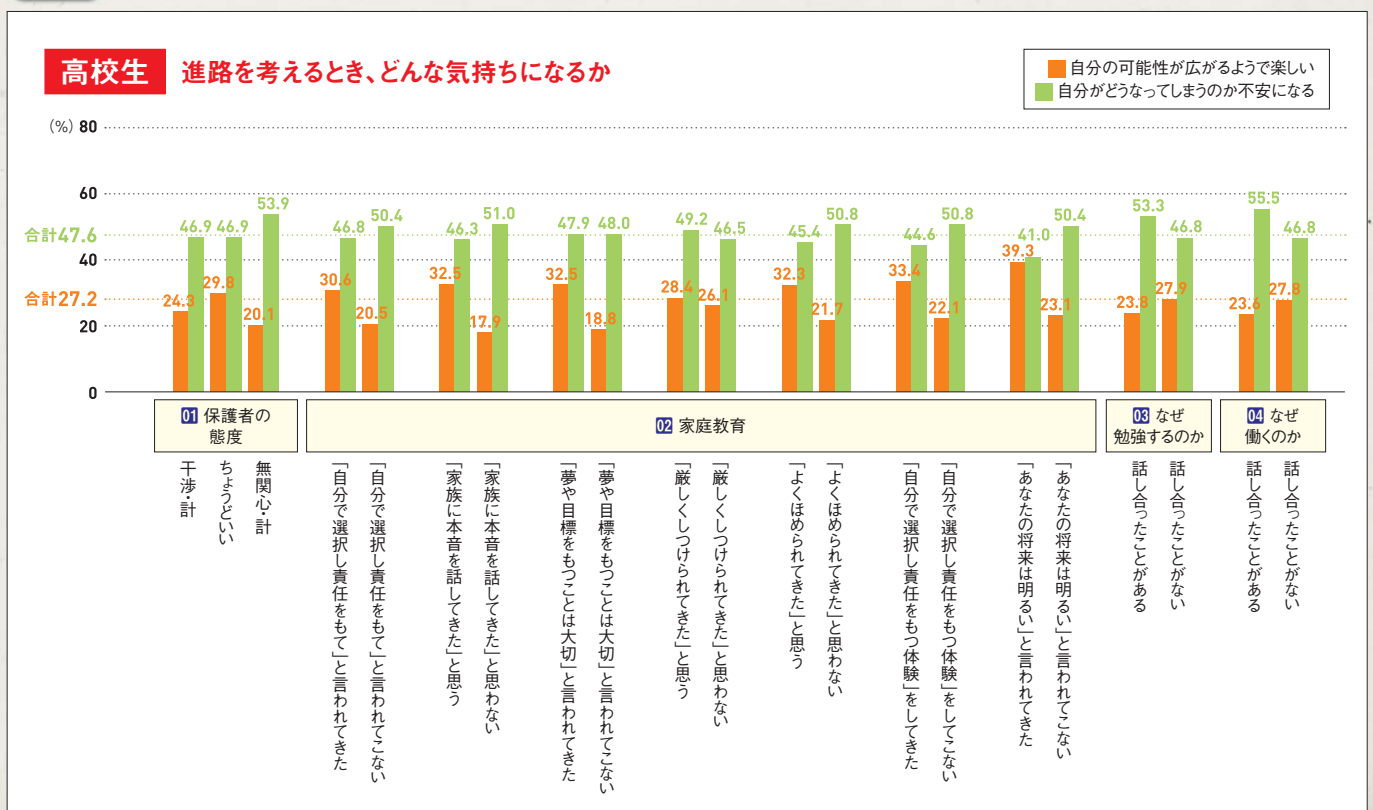
「将来は明るいと言われてきた」「家族に本音を話してきた」高校生が自信あり



06

## 進路を考えるとき「楽しい」高校生と「不安な」高校生の違いは？

「将来は明るいと言われてきた」「自分で選択し責任を持つ体験をしてきた」高校生は「楽しい」傾向が強い



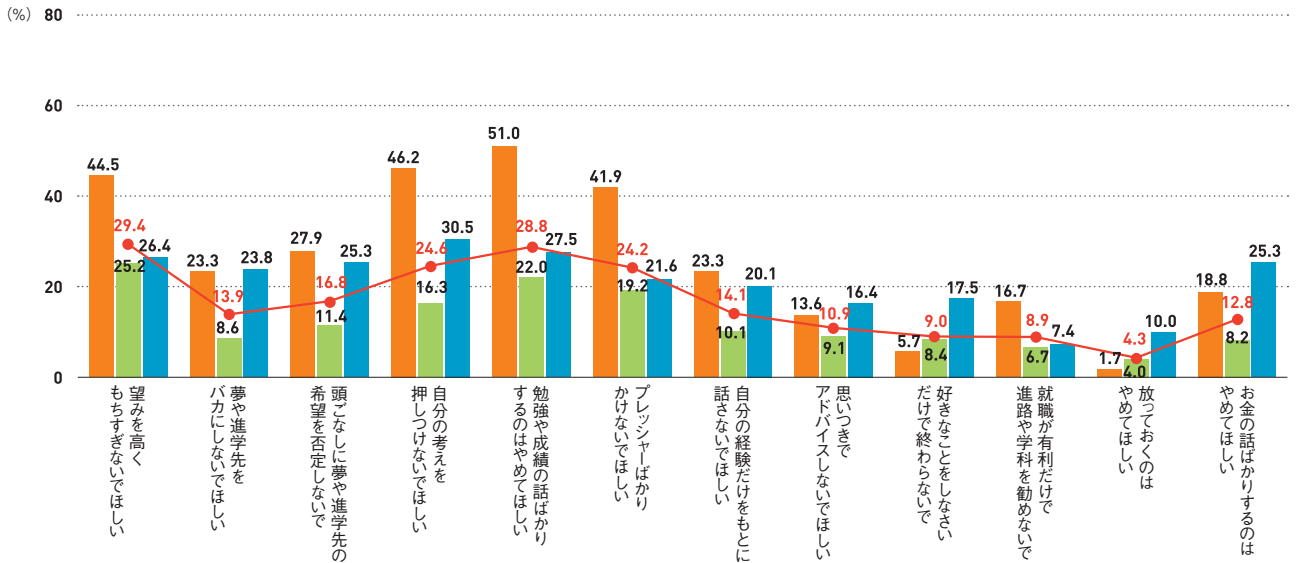


# 07

## 高校生は保護者にこれをやめてほしい!

1位は「望みを高くもちすぎないでほしい」

高校生 保護者の態度別：進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度

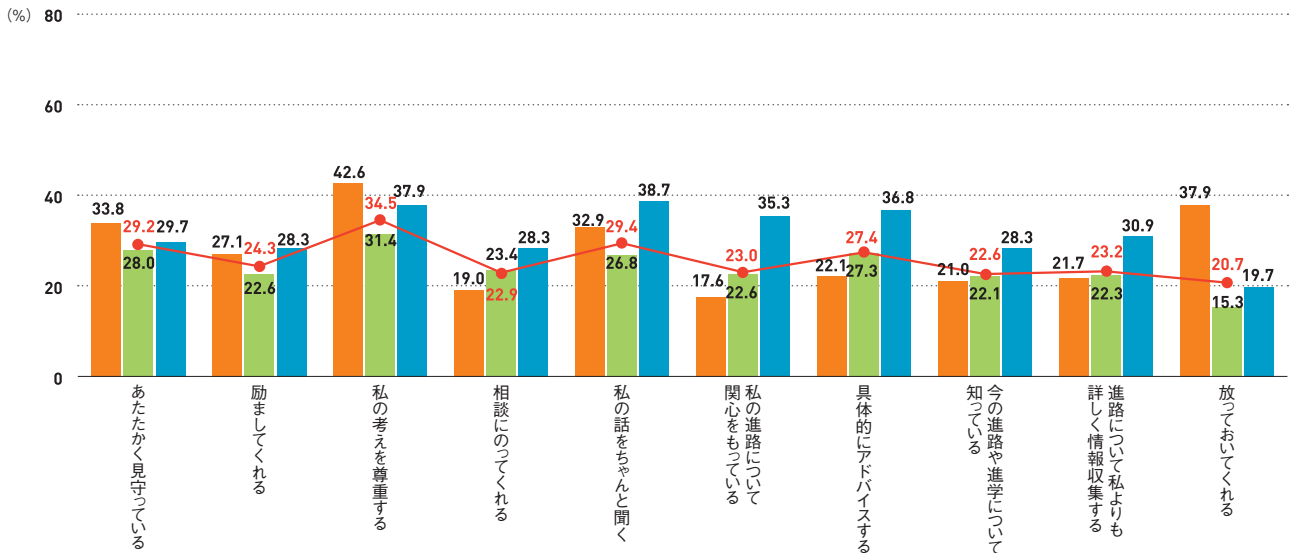


# 08

## 高校生は保護者にこうしてほしい!

1位は「自分の考えを尊重してほしい」、2位は「話をちゃんと聞いてほしい」

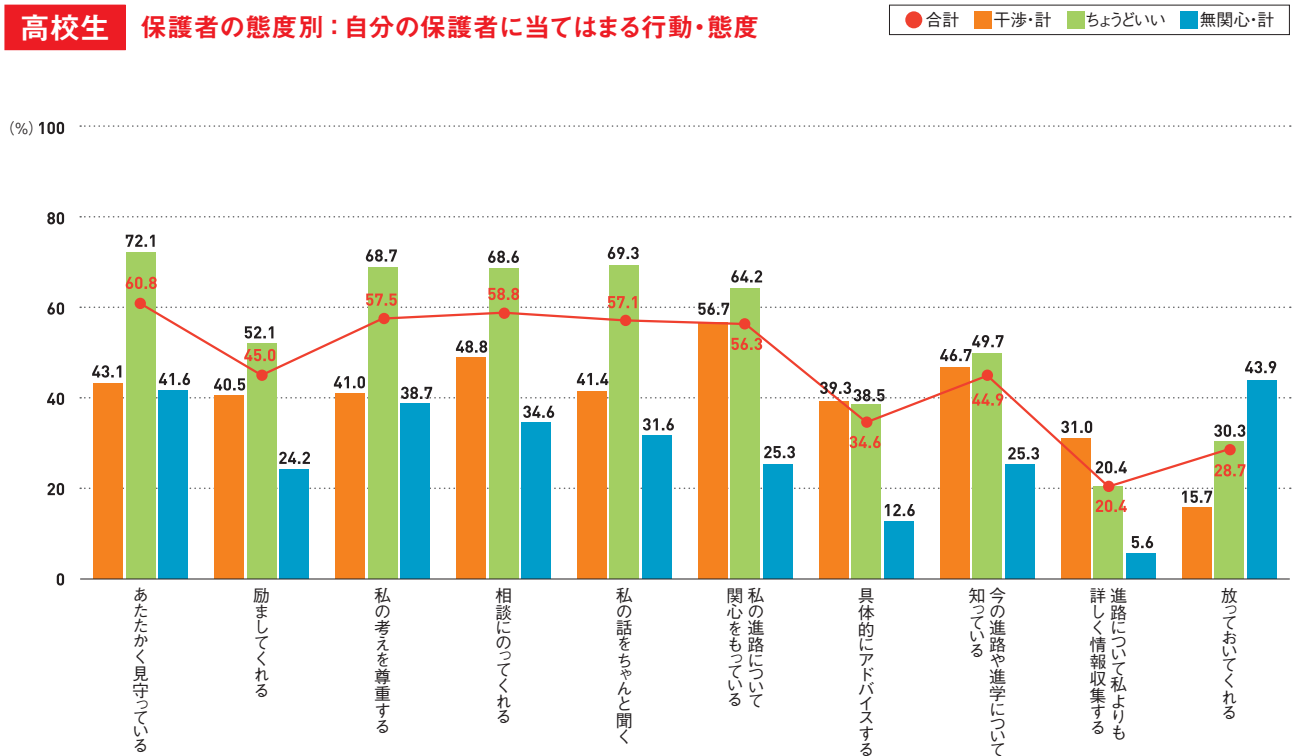
高校生 保護者の態度別：進路を考えるうえで保護者にしてほしい行動・態度



## 09 高校生は自分の保護者をこう感じている

高校生から見て「ちょうどいい」親は、「あたたかく見守っている」

高校生 保護者の態度別：自分の保護者に当てはまる行動・態度



### 【結果のポイント】

#### 01 高校生が感じている進路選択に関する保護者の態度

「ちょうどいい」と感じる高校生が63%と多い一方、「干渉しすぎる」「やや干渉しすぎる」と感じる高校生が5分の1、「無関心」と感じる高校生も14%いる結果に。女子より男子のほうが、希望進路では大学進学希望者に「干渉」を感じる者が多い。

#### 02 家庭教育についての高校生と保護者のとらえ方

キャリア教育の観点から重要と考えられる家庭での教育に関して7項目用意。当てはまるかどうかを、高校生と保護者双方にたずねた結果、上位3項目は一致。1位は「自分で選択し、それに責任をもつ」。また、3項目とも保護者の回答のほうが上回っている。特に親子の回答にギャップがあったのは「ほめる」こと。「ほめられてきた」と思う高校生51%に対し、保護者の72%が「ほめることを心がけてきた」と回答している。また、高校生のほうが高かった唯一の項目は「厳しくつけられてきた」。

#### 03 「なぜ勉強しなければならないか」の話合いの有無

高校生は17%しか話し合ったことが「ある」と回答していないのに対し、保護者は半数近くが「ある」と回答。

#### 04 「なぜ働かなければならないか」の話合いの有無

「なぜ勉強しなければならないか」と同様、高校生の回答を、保護者の回答が上回った。「話し合い」について親子の認識にギャップがあることがわかる。

#### 05 高校生の「将来への自信」と01～04はどのように関係しているか

「これからいろいろなことがあっても自分の進路を歩んでいけそう」という将来への自信がある高校生は、01保護者の態度別にみると、「ちょうどいい」と感じている高校生が「干渉」「無関心」と感じている者より多かった。また、02家庭教育の7項目とも、当てはまると思った高校生のほうが、当てはまらないと答えた者より自信を持っている割合が高く、特に「将来は明るいと言われてきた」高校生は自信を持っている者が8割を超えた。

#### 06 高校生の「進路を考えたときの気持ち」と01～04はどのように関係しているか

自分の進路を考えたとき「自分がどうなるか不安になる」が48%と半数近くおり、「自分の可能性が広がるようで楽しい」27%を大きく上回っていた。これを01保護者の態度別でみると、保護者を「ちょうどいい」と感じる高校生は「楽しい」割合がやや高くなり、保護者を「無関心」と感じる高校生では「不安」の割合が54%と高くなった。02家庭教育をみると、7項目とも当てはまる高校生のほうがそうでない者より「楽しい」割合が高くなっている。特に「将来は明るいと言われてきた」高校生は4割近くが「楽しい」と回答している。

ところが03「なぜ勉強するのか」04「なぜ働くのか」の話し合いが「ある」と回答したほうが「不安」の回答率が高くなっている。自由記述を見ると、「成績によって将来が変わる」「勉強ができない→仕事先が選べない」「お金がないと生きていけない」「働かなければまともな生活はできない」といった、不安をあおるようにも受け取れる内容が散見された。話し合いの内容が重要と考えられる。

#### 07 高校生が保護者にやめてほしいこと

全体1位は「望みを高くもちすぎないでほしい」。01保護者の態度別では「干渉」と感じる高校生が特にその希望が強い。同様に「干渉」と感じる高校生では、「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」が過半数となった。保護者の態度を「無関心」と感じる高校生がほかの高校生より高かったのは「お金の話ばかりするのはやめてほしい」「好きなことをしなさいだけで終わらないで」などとなった。

#### 08 高校生が保護者にしてほしいこと

全体1位は「私の考えを尊重してほしい」。特に保護者の態度を「干渉」と感じる高校生で高い。保護者の態度を「無関心」と感じる高校生では、「私の話をちゃんと聞いてほしい」「具体的にアドバイスしてほしい」「私の進路について関心をもってほしい」などの要望が高くなっている。

#### 09 高校生が感じている自分の保護者に当てはまること

保護者の態度を「ちょうどいい」と感じる高校生が多くの項目で突出して「当てはまる」と回答しており、なかでも「あたたかく見守っている」は7割を超えた。